Creative Enzymes®

Yersinia enterocolitica由来のYOPタンパク質チロシンホスファターゼ、組換え品

Cat. No. NATE-0642

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	タンパク質チロシンホスファターゼは、タンパク質上のリン酸化されたチロシン残基からリン酸基を除去する酵素のグループです。タンパク質チロシン（pTyr）リン酸化は、タンパク質相互作用や細胞局在のための新しい認識モチーフを作成し、タンパク質の安定性に影響を与え、酵素活性を調節する一般的な翻訳後修飾です。その結果、適切なレベルのタンパク質チロシンリン酸化を維持することは、多くの細胞機能にとって不可欠です。チロシン特異的タンパク質ホスファターゼ（PTPase; EC 3.1.3.48）は、チロシン残基に付着したリン酸基の除去を触媒し、システイン-リン酸酵素中間体を使用します。これらの酵素は、シグナル伝達□路（例えば、MAPキナーゼ□路）や細胞周期制御における重要な調節成分であり、細胞の成長、□殖、分化、形質転換、シナプス強化の制御において重要です。
用途	タンパク質中のリン酸チロシン残基から特異的にリン酸基を放出するために使用されます。
別名	YOPプロテインチロシンホスファターゼ; プロテインチロシンホスファターゼ; チロシン特異的プロテインホスファターゼ; PTPase

製品情報

種	エルシニア・エンテロコリチカ
由来	大腸菌
形態	緩衝された水性グリセロール溶液
活性	> 50,000 単位/mL
緩衝液	50 mM HEPES、pH 7.0、25°C、100 mM NaCl、5 mM DTT、0.01% Brij 35、50% グリセロール、2 mM Na2EDTAの溶液。
単位定義	1単位は、30°Cで50 µlの総反□体積中で1分間に1 nmolのp-ニトロフェニルリン酸（50 mM）を加水分解する酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

安定性	−20°C